

# 小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- 2 一問一答方式

質問件名 限りある資源や良好な環境を次世代に引き継ぐための地域での取り組みについて

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

小平市では、地球温暖化対策を推進し地域から低炭素社会をめざすための計画として地域エネルギービジョンを策定し、環境の問題やさまざまなエネルギー施策に取り組んでいます。

小平市の世帯数が増えてきていること、また 2011 年 3 月の福島第一原発の事故を経験し多くの人がエネルギーの問題に関心を寄せるようになってきた今日、今回の地域エネルギービジョンの見直しで、小平市での取り組みがさらに実り多いものになるように以下質問します。

- 1、小平市のエネルギー消費量は2005年の基準年度と比較して減少してきています。世帯数が増えたにも関わらず全体エネルギー消費量が減少していることについて市の見解を伺います。
- 2、小平産農作物を直売することや、学校給食に取り入れることのエネルギー消費の視点からの評価をお示してください。
- 3、公立小中学校に設置された太陽光パネルで発電した電力は学校全体の使用量に対してどのくらいの割合になりますか。またその電力はどのように使われていますか。
- 4、中小企業への省エネルギーの働きかけはどのようなことを行いましたか。成果と課題をお示してください。
- 5、小平市でのバイオマスの利用の取り組みが行われています。現状と課題をお示してください。
- 6、大規模開発によるマンション等建設のとき、環境やエネルギーへの配慮のために小平市が義務付けまたは提案していることにはどんなことがありますか。
- 7、地域でエネルギーの対策に取り組むためには市民、事業者、市民団体、市が協働して取り組むことが大切です。数値にこだわるだけでなく機運を盛り上げる必要がありますが、どのような取り組みが考えられますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

平成 28 年 2 月 12 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【           】

26	25	24	23

-(        /        )